



## わたしの戦争体験から

佐伯かをる (神戸YWCA 会員)



アニメ映画『この世界の片隅に』は予想以上のロングランを続けました。軍港呉市を舞台に庶民の生活が戦争によって破壊されていく。善意に満ちた主人公の性格が一層哀れに思われる作品でした。

私は三重県宇治山田市(現・伊勢市)で生まれ育ち、1945年当時は女学校4年生でした。前年7月の学徒動員令で四日市市の陸軍製絨<sup>せいじゅうしょう</sup>廠で軍用毛布の縫製作業をしていたのですが、空襲の激化に伴って工場が疎開することになり、翌年7月自宅に戻り近郊の紡績工場に通っていました。大学教員の父は学生の付き添いで、妹も工場の寄宿舎にいましたので母と私の二人暮らし。

連日どこかの都市が爆撃されていました。昼間は爆弾で工場地帯などを、艦載機の機銃掃射は走行中の列車などを狙い、夜間はB29爆撃機で油脂焼夷弾をばらまく戦術がとられていました。市民にとって夜安眠できないのは大きな苦痛で、まさに神経戦でした。避難のときは防空頭巾をかぶり非常用袋を肩にかけ、バケツと火の粉よけの布団を持ちます。もちろん着替える余裕はないので昼間の服装で寝るのです。

7月29日午前2時頃、「空襲警報」のサイレンが鳴り、飛び出したときには真っ暗な空を覆うように低空飛行するB29の編隊から花火のように焼夷弾がばらばらと落ちてきて、空き地の草が燃え出していました。油脂焼夷弾は、着地と同時に弾頭から油が飛び出し燃え上がる構造で、木造家屋はひとたまりもありません。母と私はまだ火の回っていない玄関から飛び込み、煙の中から持ち出せる物を必死で外へ放り出しましたが、伊勢造りのがっしりした建物は夜明けとともに灰になってしまいました(\*1)。有難いことに近くの家の方が二階の一部屋を貸してくださることになりましたが、住家を突然失うことは天災、人災を問わずとても辛いことです。「歴史にもしほはない」と言いますが、7月26日のポツダム宣言を日本政府がすぐに受け入れていれば広島・長崎への原爆投下はなく、ソ連の参戦やシベリア抑留もなく戦争を終結できたのにと本当に口惜しく残念です。当時これらの重大ニュースは虚脱状態だった私の頭の上を通り過ぎてしまいました。

8月14日夜、NHKが「明日正午重大放送がある」と告げたことも知らないまま「終戦の詔勅」を聞きました。場所は工場の中庭。内容が理解しにくかったこともあり、喜ぶ人も怒る人もなく、複雑な思いで涙をこらえていました。帰りの電車の中で友人たちとひとしきり悔し泣きをした後帰宅すると、電灯の黒布が外され、油紙に包んで防空壕にしまってあった制服と寝巻用の浴衣が出てありました。「平和ってこういうことなんだ」と実感したのを覚えています。一年ぶりの学校は受験生のために毎日6時まで授業。おかげで希望校へ入学でき、父と大阪へ出ました。

ひどい食糧難とインフレで苦しい生活の中、新憲法ができ男女同権となりました。学生時代、大阪市の市民ボランティア(\*2)に参加し、学生仲間と戦災孤児の施設でお話や寸劇をしたことが、今も続く朗読ボランティア活動の原点になりました(\*3)。神戸YWCAとの関わりは、1975年に岡村昭彦さんの『アジアの中の日本を考える』学習会に参加し現代史に目覚めたこと。その後、近現代史勉強会『いもづる』でさまざまな角度から社会のしくみを学びました。一方、神戸YWCA学院日本語科の日本語教師として視野を広げることができ感謝しています。

私の理想とする日本は、強くて怖れられる国ではなく、愛され尊敬される国なのです。誰もが「大切にしたい」と思ってくれる日本でありますように。日本国憲法を大切にしましょう。

(\*1) この空襲を昭和天皇が「万一の場合には伊勢と熱田の神器は自分がお守りして運命を共にする外ない」(当時の内大臣木戸幸一の日記より抜粋)と非常に深刻に受けとめていたことを私が知ったのは、68年後の2013年9月、近現代史勉強会『いもづる』で配られた資料を通じてでした。

(\*2) 米軍占領下、連合軍司令部(GHQ)の民間情報教育局(CIE)が大阪市に対して市民ボランティア募集を指示し、大阪市から大学の学長を通じて学生に依頼された活動。10人ぐらいの参加がありました。大阪市の宣伝カーで呼びかけるなどの活動をしました。

(\*3) この朗読ボランティア活動は、後に私がアナウンサーを志望し、新日本放送(現・毎日放送)に入社して仕事をする原点にもなりました。現在も続けている、視覚障害者向けの朗読ボランティア活動とは、声の図書赤十字奉仕団に所属する「ともしびグループ」。2010年に、「コープこうべ虹の賞・功労賞」を受賞しました。

# エシカルファッションフェスティバル

人と地球にやさしいファッションを。

6月11日(日)、神戸YWCA本館にて「今日は、いつもと違うわたし」をテーマにしたイベント「エシカルファッションフェスティバル」が開催された(来場者175人、出店16店)。

「エシカル」は使い捨てや大量生産の対極にあるもの。ファッションは「女性が生きること」に直結している。私たちが身につけるものを選ぶときに、それが作られた過程や背景、作り手や作られている社会のこと、そして環境や未来のことに少し思いを馳せてみようと呼びかけたのが今回のイベントである。企画したフェスプロジェクトの思いは、「今は、安いものがすぐに手に入る時代だが、『これでいいの?』



と立ち止まって考え、いつもと違う自分を発見してほしい。」

当日は大勢の方が来場し、リサイクル、ハンドメイド、フェアトレードのファッションアイテムのブースは常時賑わい、売り手と買い手の間で商品をめぐって話が盛り上がっていた。手づくりブローチのワークショップでは、大人に混じって子どもたちも、一つひとつ丁寧にビーズやボタンを付けて自分なりのブローチを作りあげていた。カフェもドリンクがすぐ売り切れるなど、大



神戸ファッション専門学校の学生とファッションショーモデル

盛況だった。14時から、神戸ファッション専門学校とNPO法人FREEHELPの協力のもと、ファッションショーが開催された。ショー後半には専門学校から借りたドレスや、世界の民族衣裳を着ての飛び入り出演もあり、観客が会場からはみ出してしまうほどの盛況だった。

(機関紙編集部・山本かえ子)

## リーダーシップ養成を考える

三市YWCA 合同合宿拡大版

7月15日(土)、16日(日)三市YWCA(神戸、大阪、京都)は京都の関西セミナーハウスで、合同合宿を行った。今回、名古屋YWCAも加わり、参加者は約40人。

YWCAの活動を活性化させるためには? 「現状の把握~YWCAに関わる『人マップ』づくり~」、「語ろう! みんなのギモン」、「これからのプランをたてよう! ~2018年度に向けて」の三つのセッションで、皆集中して、熱く、真剣に、楽しく語りあった。

最後のセッションでは、「個人の資質をみがく」「YWCAの組織改善を考える」「リーダーシップトレーニングプログラムを考える」のテーマにわかれ、一つでも実現できるように話し合い、継続的に考えていくことになった。

参加者の中から、「何もわからないまま、リーダーになったり、運営委員になった」という声もあり、誰でもがYWCAの活動が理解でき、参加できる仕組みをそれぞれのYで考えていくことになった。

(運営委員・野村 春美)



### 三市YWCA 合同合宿に参加して

今回の合同合宿で、多様な個性のメンバーが、グループの和合に向けて協力し、努力するダイナミックなプロセスを体験することができました。

今後の自分の課題の多さを知るとともに、現在、活動のなかで受けている周りの人たちからのサポートの大きさに改めて感謝する機会になりました。ただ、あくまでも自分のペースをつかみ無理のない自己管理のもとで、楽しくリラックスして活動できればと思いました。今まで自分とは無縁と思っていたリーダーシップでしたが、今回の学びでYのいう「リーダーシップ」がじつは自己実現と深く関わっており、個人の成長がグループや社会のあり方の向上に繋がっているということを実感することができました。

(運営委員・東根 順子)

フェスティバルの運営にご協力いただいた以下の団体等をはじめ、出店者、ボランティア、物品寄贈などでご協力くださったすべての方に感謝いたします。

神戸ファッション専門学校  
NPO法人FREEHELP  
株式会社上野商店  
三中恵津子  
全美玉  
La Dolce Vita ~ atelier yumie ~  
啓明学院中学校・高等学校YWCA部  
(敬称略)

\* NPO法人FREEHELP(全額)、株式会社上野商店(一部)の売上は、神戸YWCA学院日本語コース「勉強に役立つ日本語」プログラムに寄付頂きました。

## 街角スタンディングアピール

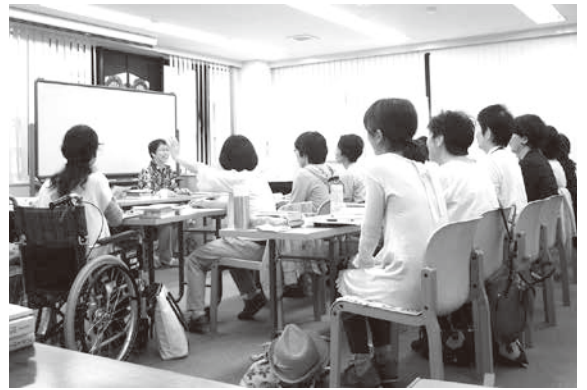
多く国民に理解を得られぬまま「共謀罪法案」は採決されたが、反対する私たちがいることをアピールしようと駅前でスタンディングを呼びかけてきた。

神戸YWCAや市民グループの人たち70人あまりが9回街頭に立ったが、今までになく「無関心さ」が目立ったのは残念だった。

採決後の今こそ私たちに求められるのは、憲法・市民の権利を活かし「共謀罪はNO」という姿勢を示し続ける行動かと思う。(平和活動部)

# 言葉だけで想像する おはなしの世界

## ～ストーリーテリングを学び体験する



ストーリーテラー養成入門講座の様子

私のストーリーテリングとの初めての出会いは、20年ほど前の地元の公民館のおはなし会でした。その時、言葉だけで語られたお話の世界に強い印象を受けました。そして、2007年から小学校のボランティアグループに参加し、神戸YWCAストーリーテラー養成入門講座を知り、早速申し込みました。講座初日は講師である間崎ルリ子さんの話に緊張しながら耳を傾け、そこで話された「言葉の受肉」に深い感銘を受けました。

言葉が体験を肉付け、人の心を作っていく。これは今でも、私の活動の指針となっています。

その後、マザースカレッジ企画会の「ことばの力を通してよりよく生きる」という活動趣旨に共鳴して、委員として活動してきました。そしてこの度、ストーリーテラーの後継者を育てたいという思いで10年ぶりに養成講座を企画し、定員20人をはるかに上回る80人以上の応募

がありました。長年の私たちのことばに対するこだわりが理解されたと嬉しく思っています。5月から芦田悦子さんの指導のもと、30人の受講者が幸せと喜びに満ちたおはなしの世界を子どもたちに届けたいという熱い思いで学んでいます。  
(マザースカレッジ企画会・岸上 美和)

## 女性と介護

### —神戸YWCA まごの手の現状と未来について①—

神戸YWCAは、今後日本社会の高齢化に伴い介護が大きな問題になること、介護は女性の生き方にも深く関わる問題だということで、1987年にシルバーエイジ活動企画会を立ち上げ、1996年に会員が主体となりホームヘルパー養成講座を開始したそうだ。翌年資格を取ったメンバーが、会員宅にホームヘルプ活動を行った。その後、介護保険法

が施行され、介護保険に対応する事業所となった。

社会参加も可能であり、利用者の生活を支える仕事としてのやりがいもあるホームヘルパー。社会に先駆けてホームヘルプサービスを実施していたまごの手のホームヘルパー養成講座には多くの受講生があり、現在もさまざまな事業所等で活躍しておられ、神戸YWCAの介

護・福祉研修には他事業所からの参加も多い。

まごの手では、現在、働き手であるヘルパーの多くが、自分の家族の介護など、利用者側の立場にも直面しており、厳しい状況に立たされている。ぜひ、私たちとともに取り組んでくれる人を増やしていきたい。

(機関紙編集部・山本かえ子)



「こういうことを嫌だと思ふ人もいるんだな」という、たくさんの「気づき」を与えてくれる、そんな場所です。この気づきは、私には本当に大切な宝物なのです。

これからも、神戸YWCAが、私にとつて、他の誰かにとつて、大切な場所であり続けられますように願います。

(立川 献)



活動に参加しています。

私はずばら、神戸YWCA夜回り準備会の

夜回りに参加し始めた頃、個人の方が抱える問題を解決する街の弁護士、所謂街ベンになりたいと思っていました。夜回りに参加し始めたのも、今後働くフィールドと関わりがあると考えたからです。ですが不思議なもので、今は個人の方からのお仕事は少なく、企業に関する仕事が中心です。今考えれば、当時の私の希望に沿う事務所に就職していたら、私のバランス感覚は、非常に偏ったものになっていた、根拠もなしに「大企業なんてけしからん!」、そんな考えの人になっていたと思います。

働く場所もそうですが、夜回りや神戸YWCAとの関わりは、私にとつて「自分の常識を疑う」場所であり、ただのボランティアを超えた重要なものです。色々な人の考えを聞き、「そう考えることもできるのか」「こういうことを嫌だと思ふ人もいるんだな」という、たくさんの「気づき」を与えてくれる、そんな場所です。この気づきは、私には本当に大切な宝物なのです。

## 神戸YWCAへのおさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201  
 神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

- 映画「This is a オスプレイ」上映会 **本館**  
 私たち無関心でいいの？  
 8月18日(金) 18時～20時  
 会費：1,000円(若者・シニア 700円)
- わいわい科学クラブ(小学生対象) **本館**  
 8月26日(土)  
 「紙ひこうきと電気パンをたのしもう」  
 ① 10時～11時30分 ② 13時～14時30分  
 ＊申し込み必要  
 9月16日(土)  
 「ふくらむスライムであそぼう」  
 ① 10時～11時30分 ② 13時～14時30分  
 ＊申し込み必要  
 参加費 各1回200円
- ちゃいやはらんど **分室**  
 「みんなで子育てを楽しもう！」がコンセプト。

- ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。  
 8月25日(火) 11時～15時「宿題おわせ隊」  
 8月30日(水) 11時～15時「おぼけ大会」  
 参加費 100円(1回)
- 地域のお店くるくる **分室**  
 リサイクルファッションのお店  
 毎月第3木曜日オープン！  
 9月21日(木) ＊8月はお休みです  
 13時～15時30分
- カフェもぐもぐ **分室**  
 若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。  
 9月2日(土) 10時～15時 ＊8月はお休みです  
 参加費 300円  
 ＊昼食はカレーを作って食べます。  
 (要予約、別途食材料代が必要)。

## セカンドハウス、今夏もやります！

西明石のセカンドハウスはこの夏もフル稼働。7月中旬から8月下旬までほぼ休みなく、福島から計5家族をお迎えします。恒例となりましたお好み焼きなどをいただきながらの歓迎会も、それぞれのご家族ごとに実施します。また、お掃除やお布団の準備を平日の昼間に手伝っていただく「セカンドハウス・お掃除し隊」メンバーを通年募集中です。(被災者支援プロジェクト・梅澤 昌子)

夏季休館日：8月10日(木)～16日(水) ＊まごの手・保育園を除く

### ■ 分室だより

#### 分室ボランティア募集中！

地域の方々に手づくり弁当をお届けして20年以上。「わいわいランチ」ドライバーと、車に乗って配食を手伝ってくださる方を同時募集中です！

地域のお店「くるくる」でも洋服やアクセサリが好きなボランティアを募集しています。分室までお気軽にお問い合わせください。(電話：078-221-5111)。(分室担当スタッフ・塩見 洋子)

#### ■ 保育園だより

7月に0歳児2人が入園してきました。在園の子どもたちは「自分は大きくなった」と思っているようですから「あかちゃん！あかちゃん！」と大歓迎モード。

しかし、まだ0歳児がいない時に、こっそり0歳児コーナーに入って、黙々と赤ちゃん玩具で遊んでいる1、2歳児もいます。懐かしいと感じているのか、新しいおもちゃで遊びたいのか、どちらでしょう？

ガラガラやおんぶ紐を手に、

真剣に遊ぶ後姿は、思わず抱きしめたくなるほどかわいいです。(園長・梅川 玲子)

### ■ 運営委員会報告

(6月)【報告】理事会▶三市Y合同会宿実行委員会▶加盟YWCA中央委員会▶キックオフミーティング【議事】エシカルファッションフェスティバル▶三市Y合同会宿▶つながるプロジェクト▶組織見直しのためのワークショップ▶日韓ユースカンファレンス実行委員会参加者や若手新会員のフォローアップについて▶ボランティア説明会▶その他(書記・山本かえ子)

### ■ 評議員会報告

6月10日(土) 定時評議員会開催。出席評議員9人。2016年度事業報告がなされ、決算を決議。また理事の選任について決議。選任された理事は、以下のとおり。

理事  
 大工原則子  
 寺内真子  
 西本玲子  
 平山芳子

三浦啓子  
 宮田泰子  
 モーア・アン  
 (総幹事・西本 玲子)

### ■ 理事会報告

6月10日(土) 2017年度第1回理事会開催。代表理事に平山芳子、常務理事に西本玲子、業務執行理事に寺内真子を選任。

7月8日(土) 第2回理事会開催。2017年度財政の展望と対策の検討、神戸YWCA 保育園の備品購入の件を協議。

(総幹事・西本 玲子)

### ■ 新入会員・会友

岸上 美和(敬称略)

### ■ 賛助員

生駒 琢磨 井上 力 井上 明子  
 平山 嘉廣(敬称略)

### ■ 編集後記

熱い夏がやって来て、また終戦記念日を迎える。しかし、戦争を忘れ、戦争への道を歩もうとしている。いつか記念日もなくなるのだろうか。

(H・N)

神戸YWCA

LOVE  
AND  
PEACE  
バザー  
2017

今年の本館バザーは  
10月の体育の日では  
なく、11月23日に  
開催します！

日時：11月23日(木・祝)  
11:00～14:30  
場所：神戸YWCA本館

テーマは「ラブ&ピース」  
お楽しみに！



ゴーフル®

いいものは  
時代をこえて  
生き続けます

神戸風月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555  
 URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2  
 URL: <http://sanosousai.com>